

令和8年度 施政方針

令和8年2月24日開会の高島市
議会3月定例会で、今城市長が示し
た施政方針をお知らせします。

昨年2月に市長に就任させていただき、1年が過ぎたところです。この間、私は市民の皆さまの切実な声や、市外から本市に関わっていただいている方々の意見などに耳を傾け、本市が抱える課題と、それ以上に眠っている高島市の魅力と無限の可能性を肌で感じてきました。

高島市の可能性を生かすための新しい取り組みを立ち上げるとともに、これまでに築き上げられてきたさまざまな取り組みを新しいステージへと進めるなど、これまでの対話を形へと変え、高島の新しい時代を切り拓く決意です。そのためには、市政運営において、次の3点を重視していきます。

1点目は、**高島市の魅力と可能性**を認識し、これらを大切にしながら生かすという意識を、組織全体でより一層高めていくということです。このために、市役所内での積極的な議論や研修などを取り入れます。

2点目は、市民や民間の団体、事業体と行政が一緒になり、それぞれが持つノウハウや強みを足し合わせて、新しい価値を創

重視したい3つのポイント

- ①高島市の魅力と可能性の認識およびこれを生かす意識
- ②官民共創の取り組みによるまちづくり
- ③県や国とのつながりの強化

り上げていく「**官民共創**」の取り組みによるまちづくりです。このためには、市役所の外へと積極的につながる動きと、民間の力を生かすための創意工夫を市の組織全体として進めていきます。

3点目は、**県や国とのつながり**を強化することです。高島市の厳しい財政状況を踏まえると、県や国の施策を最大限活用する必要があります。このために、県や国との連携をより一層進めていきたいと考えます。

そのうえで、市政運営にあたって掲げている「若者と子育て世代を引きつけ、人口減少に打ち勝つまちづくり」と「健康で生涯活躍できる安全安心なまちづくり」という2つの大きな政策目標を達成するため、次に掲げる「新しい高島をつくる7つのビジョン」を羅針盤として、具現化に向けた施策を推進します。

7つのビジョン

vision 1 仕事をする人、 暮らす人で にぎわうまちづくり

TAKASHIMA
7visions

地域資源を活用したり、仕事を創り出したりするなど、高島の活力を生むのは人です。都市部の人材を呼び込む「地域おこし協力隊」を積極的に募集し、新たな視点でまちづくりに参画していただくとともに、市内で活動しながら定住いただけるような伴走型支援を強化します。

このビジョンの達成のためには、都市部から高島市への新たな人の流れをつくる必要があります。空き家を「地域のにぎわいの場」へと転換するモデルづくりとしてモデル集落を選定し、サテライトオフィスや学生の学びの場として産官学の共創で再生する取り組みを進めます。

そして、高島の雄大な自然環境や森林についても、新たな可能性を生かしてにぎわいを生み出す取り組みを官民共創によって進めたいと考えています。令和8年度は、森林サービス産業創出事業による企業の森の誘致や、たいさんじ活性化事業および針畑地域活性化事業などに取り組みます。

企業誘致については、一層推進しなければならぬと考えています。県による産業用地開発事業などのチャンスを生かし、積極的な営業による企業誘致を促進します。



vision 2 経済効果を高める 観光まちづくり

TAKASHIMA
7visions

「たかしま観光ビジョン」の実践フェーズとして、観光に関係する各団体とのワークシヨップを重ねて、現場からの提案を、市全体の観光の仕組みづくりにつなげていきます。

まずは、本年1月から放送中の大河ドラマ『豊臣兄弟!』を絶好の機会と捉え、ゆかりの地を巡るイベントや情報発信を強化します。歴史資源を観光素材とした誘客を促進し、地域経済を潤す観光消費へとつなげていきます。

次に、公共交通機関を利用した観光を推進するため、近江今津駅周辺地域について、観光客を迎える玄関口としての魅力を高めるまちづくりを官民共創で進めます。あわせて、市内最大のスポーツ施設である今津総合運動公園を中心に、官民共創によるスポーツを軸とした地域づくりを検討します。

vision 3 活力ある強い産業を 育むまちづくり

TAKASHIMA
7visions

また、ツーリズムの拠点となる既存施設の改修を計画的に進めるとともに、メタセコイア並木の観光客による渋滞解消や衛生環境の向上を目的とした周辺環境の整備を進めます。

「発酵のまちづくり」をブランド化するための「発酵のまちづくり推進事業」に取り組むなど、地場産業の付加価値を高めていきます。

農業では、安定生産と信頼性を両立させた次世代モデルをつくるための有機農業推進事業を実施するとともに、オーガニックビレッジ宣言を目指します。

新規就農者には、住居支援や、50代・60代の挑戦を支える支援金を新設します。アグリサポート高島と連携した研修農場の創出など、担い手を確保するための新しい取り組みを進めます。深刻な農業被害をもたらして



国道161号 安曇川地区立体化

の計画的な更新などを行い、消
防力を着実に強化します。また、
河川改修や急傾斜地対策などの
インフラ強靱化を推進します。
地域防災の要である「自助・
共助」の取り組みにおいては、
要支援者一人ひとりに最適な避
難方法を定める「個別避難計画」
やマイ・タイムラインなどの作
成および防災出前講座などの実
施を引き続いて推進することに
よって、誰一人取り残さない避
難体制づくりを進めます。
あわせて、自主防災組織を育
成・強化しながら、防災資機材
等の整備を支援します。
また、重要港湾である敦賀港
と滋賀県そして京阪神を結ぶ最
短ルートである国道161号に
ついては、想定されている南海
トラフ地震や琵琶湖西岸断層帯

一般廃棄物を伊賀市へ運搬し
ている状態を解消し、高島市で
の適切な処理体制をつくること
によって、環境と私たちの日々
の暮らしが共生していくための
環境センターとしての役割を果
たせるように、泰山寺の環境や
景観に配慮しながら、新たなご
み処理施設の整備を進めます。
また、県内でも特筆すべき良
好な自然環境や景観を有してい
る本市の琵琶湖岸について、市
民、有識者で構成されている未

vision 7 高島らしい環境、 文化、歴史に 恵まれたまちづくり

TAKASHIMA
7visions

地震などの大規模災害時におい
て、救援物資の輸送を含めた防
災の機能を果たすため、人の流
れや物流の活性化によって本市
の経済を発展させるためにも、
敦賀市へのアクセスの向上が欠
かせないことから、安曇川地区
の立体化早期開通などとあわせ
て、官民一緒になって国や県へ
強力に働きかけます。



学校給食

レーニングによる保護者支援も
新たに開始します。
教育現場では、支援員や指導
員を増員し、一人ひとりに寄り
添う教育を実践します。また、
安曇小学校のトイレ改修を前倒
して実施するとともに、マキ
ノ地域では、地域産木材をはじ
めとする木材をふんだんに使用
するなど環境に配慮した魅力的
な新校舎整備を進めます。
学校給食については、物価高
騰の中でも予算を増額して「高
島市内の農産物を使用したおい
しい給食」を維持し、子どもた
ちの健やかな成長を支えます。
不足している保育人材につい
ては、保育人材の確保と定着に
取り組むための各種支援策を引
き続き推進します。

vision 5 人と人がつながり、 健康で生涯活躍 できるまちづくり

TAKASHIMA
7visions

複雑化する福祉ニーズに対し
「重層的支援」を深化させると
ともに、認知症や障がいのある
方への権利擁護を強化します。
「団塊の世代」が後期高齢者
となる中、第10期介護保険事業
計画を策定します。不足してい
る介護人材については、市内介
護サービス事業所等の人材確保
と定着促進への各種支援策を引
き続き推進します。
厳しい経営状態となっている
病院事業では経営の健全化を加
速させつつ、陽光の里の一部を
「介護医療院」へ転換し、医療・
介護・在宅が一体となった安心
の体制を築きます。
また、地域で安心して医療
サービスを受けられるまちづく
りを実現する必要があります。
各医療機関の特性を生かした官
民共創による地域医療の連携体
制づくりの検討を始めます。
市民の移動手段の確保は、運
転免許の返納が進む中でますます
重要性が高まっています。持



大溝の水辺景観

来へ誇れる環境づくり推進委員
会、企業等とともに、保全と活
用を官民共創で持続的に行って
いく仕組みづくりを進めます。
さらに、令和8年度には「環
境基本計画」の改訂を行い、こ
れまでの10年間で大きく変化し
た社会情勢や本市の優れた環
境を踏まえて、次の10年間に
おける環境対策の方針を策定し
ます。
あわせて、重要文化的景観の
整備と活用をはじめ、文化財の
調査、保存、展示および情報発
信を行い、地域の歴史的価値を
未来へ継承する取り組みを進め
ます。

vision 6 さまざまな 災害に備える 防災システムづくり

TAKASHIMA
7visions

JR湖西線も市民の移動手段
として極めて重要です。強風対
策をはじめとした利便性の向上
と利用促進について、外部有識
者を含めた検討会議
を新たに設置し、対
策に向けたより実現
性のある提案づく
りを進めます。
救急・救出活動の迅速化を
図るため、119番通報の際に
通報者のスマートフォンのカメ
ラ映像をリアルタイムで消防本
部へ伝送する「映像通報シス
テム」を導入します。これによっ
て、1分1秒を争う救命活動の精
度を飛躍的に高めていきます。
ハード面では、消防ポンプ車



7つのビジョンそれぞれについ
ての主な施策を申し上げました
が、それらの施策一つ一つが「人
口減少に打ち勝つ力」となり、
市民の安全安心な暮らしにつな
がると考えています。
このような施策の推進も含
め、市民の皆さま、各種団体や
民間事業者の皆さま、市議会の
皆さま、そして私たち市役所の
執行部が力やノウハウを出し合
い、次世代に誇れる高島を共に
創り上げる喜びを分かち合うこ
とができれば、これほど素晴ら
しいことはありません。
令和8年度の市政運営につい
て、市議会議員の皆さまと市民
の皆さまに、より一層のお力と
ご指導を賜りますようお願いを
申し上げます。

秘書課 ☎ (25) 84115

